

テングノコツチ

Tripterospermum trinervium (Thunb.) H. Ohashi et H. Nakai var. *involutibile* (N. Yonez.) H. Ohashi et H. Nakai
リンドウ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類 【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

本県を分布限界とし、生育地、個体数ともごく限定される。

分 布

本州（中部地方以北）に分布する。県内では奥越地方で確認される。

種の特徴

亜高山帯の針葉樹林下に稀に生えるつる性の多年生草本。葉や花冠、果実等が小型化し、花と実と一緒に見られ、茎は地を這う。茎は長さ 30 cm 以下、葉は長さ 2～3 cm、幅 1～1.3 cm と小さく、やや丸みがある。花は茎の先に 1～2 個つき、腋生しない。

生育を脅かす要因

局地的な分布をする種で、脆弱な地に生育するため生育地、周辺に環境圧を加えると生育を脅かすことになる。自然遷移、温暖化の進行も生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

シロバナカモメヅル

Vincetoxicum sublancoletatum (Miq.) Maxim. var. *macranthum* Maxim.
キョウチクトウ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：— 【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は 10 箇所以下で、生育地、個体数とも限られる。

分 布

北海道、本州（近畿地方北部以東）に分布する。県内では敦賀市、あわら市、坂井市、福井市、勝山市、大野市に自生が確認されている。

種の特徴

山地の湿原や草原に自生するつる植物。他の草等に巻きついて、高さは 2～3m ほどになる。葉は茎に対生し、形は披針形で先が尖り、縁は全縁。花期は 7～9 月で、径 1～2 cm ほどの淡黄白色をした星型の花をつける。

生育を脅かす要因

草原開発、道路工事、自然遷移。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○					○		○		○	○	○

コバノカモメヅル

Vincetoxicum sublancoletatum (Miq.) Maxim. var. *sublancoletatum*
キョウチクトウ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：— 【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも少ない。1986 年以降の確認の記録はない。

分 布

本州（関東・中部・近畿地方）に分布する。県内では嶺南、嶺北、奥越地方に広く分布する。

種の特徴

日当たりのよい草地や土手等に、他の植物に巻きついて生育するつる性の多年生草本。葉には短い柄があり対生、長楕円状広披針形。夏に葉腋に短い花柄をだし、暗紫色の小花をつける。

生育を脅かす要因

草地開発、道路工事、自然遷移。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○		○						○	○	○			○